

株式会社フィックスターズ

2026年9月期第3四半期決算補足説明資料

2026/08/07

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

1

2026年9月期 第3四半期 決算説明

前年同期比で増収・増益を達成

独自開発した「Fixstars Vega」を活用したAI駆動開発の

拡大により、受託開発の生産性向上および収益性改善に寄与

売上高

7,917百万円

前年同期比 + 11.9%

営業利益

2,222百万円

前年同期比 + 6.5%

プラス要因

- ・ 半導体業界および産業機器向けの高速化サービスへの旺盛な需要により、自動車業界における大口取引先の製品開発プロジェクト中止の影響を概ね吸収

マイナス要因

- ・ 「Fixstars Amplify」は例年の季節変動要因によりストック収益が一時的に減少
- ・ 「Fixstars AIBooster」は大口案件終了によりストック収益が一時的に減少

連結損益計算書

大口取引先の製品開発プロジェクト中止に伴う一時的な影響はあったものの、前年同期比では増収を継続。

利益面では、大幅な賃上げや本社移転に伴う費用増加を吸収し、営業利益は前年同期比で増益も、

当期純利益は前年同期に子会社の清算に伴う税金負担軽減があった反動や、本社移転関連費用の特別損失計上により減益。

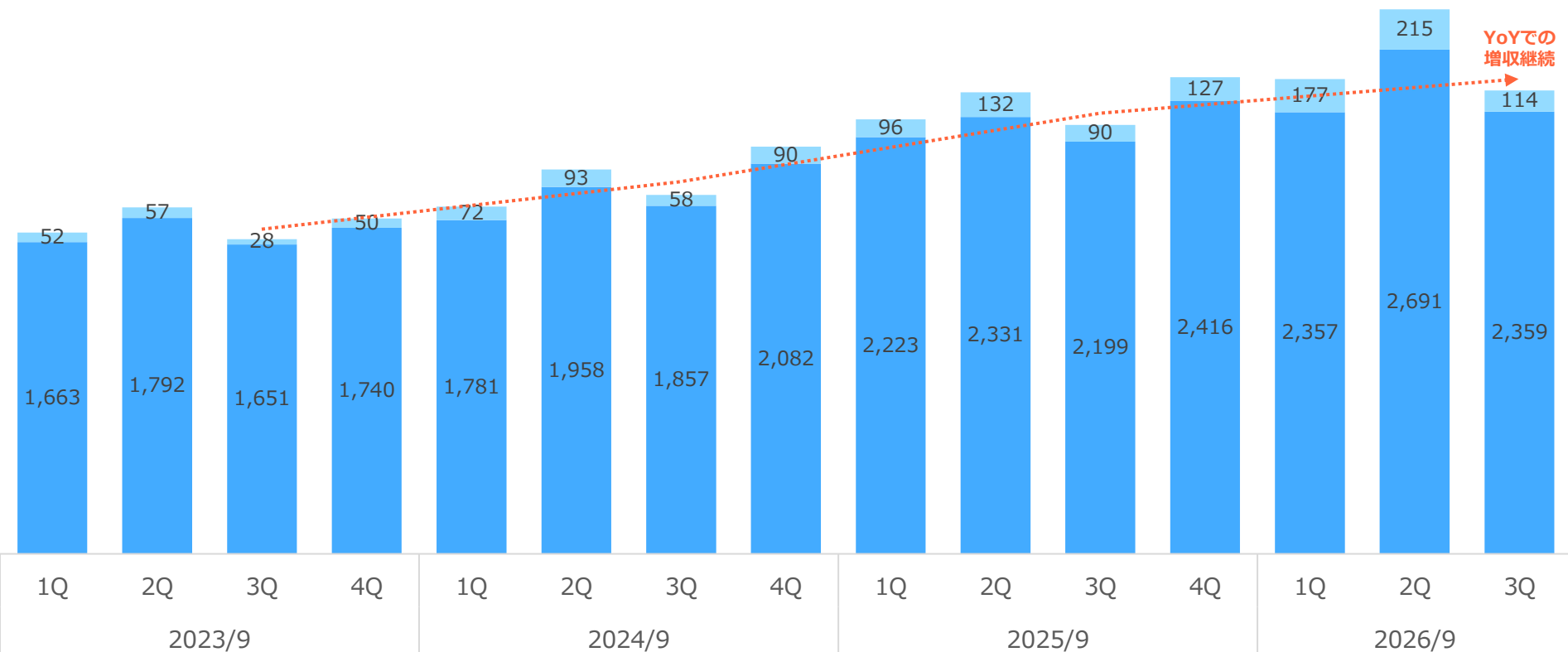
(単位：百万円)	2025年9月期 3Q	2026年9月期 3Q		
	実績	実績	前年同期比	通期進捗率
売上高	7,073	7,917	+11.9%	73.3%
営業利益	2,086	2,222	+6.5%	71.7%
売上高営業利益率	29.5%	28.1%	▲1.4pt	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,627	1,315	▲19.2%	67.4%
売上高当期純利益率	23.0%	16.6%	▲6.4pt	

売上高

各事業において、季節的要因等により2Q比では減収となったものの、前年同期比では増収を達成。高速化サービスおよびAI駆動開発関連サービスへの需要は引き続き高水準で推移。自動車業界向けは大口案件終了による影響があったものの、引き続き最大の売上構成比を占める。半導体・産業機器向け需要の拡大が業績を下支え。業界別売上構成比は自動車約40%、半導体約35%、産業機器約10%、金融約5%、その他約10%。

■ SaaS事業
■ Solution事業

(単位：百万円)

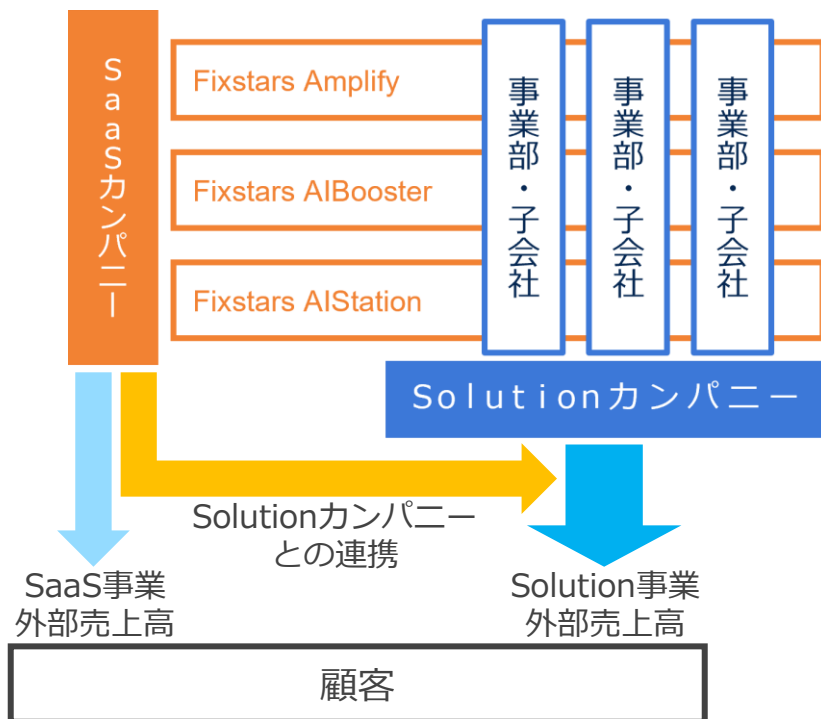


売上高：SaaS関連のストック収益推移

中期経営方針として、ストック型収益の拡大を推進。Solutionカンパニーの各組織と連携し、Fixstars Amplify、Fixstars AIBooster、およびFixstars AIStationを中心としたSaaS製品の導入拡大に注力。ストック型収益は、Fixstars Amplifyの季節変動要因およびFixstars AIBoosterの大口案件終了により一時的に減少したものの、SaaS製品の導入拡大を通じ、中長期的なストック型収益基盤の強化を図る。

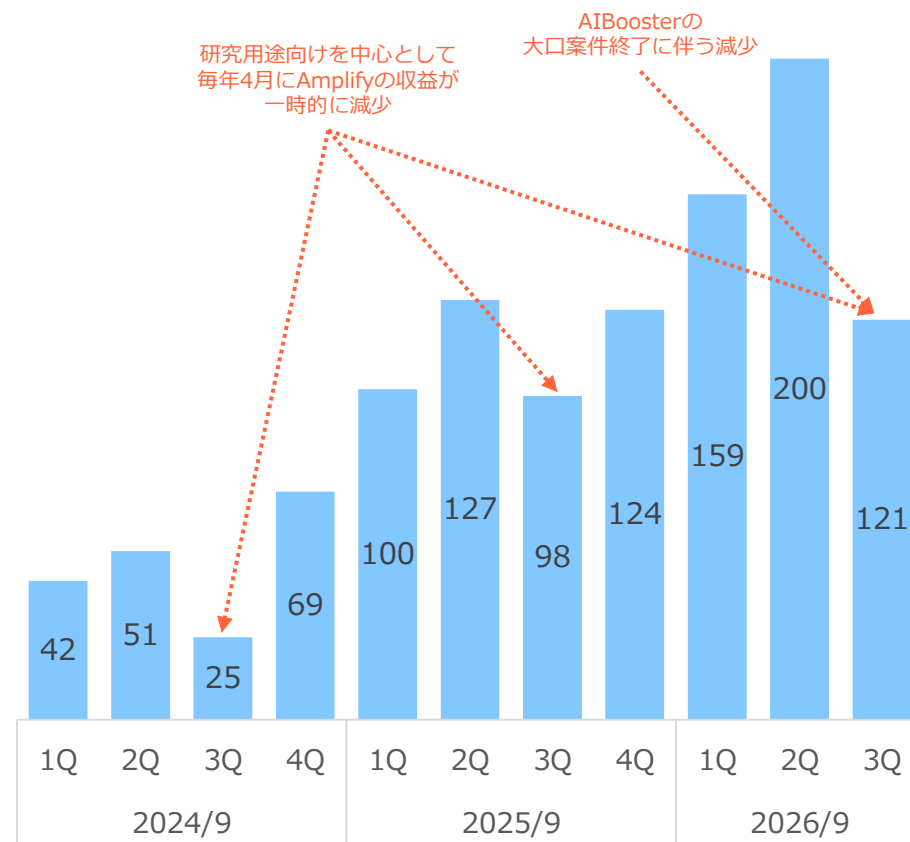
ストック型収益拡大のための施策

Solutionカンパニーの事業部/子会社に
横串でSaaSカンパニーのプロダクトを販売する体制を構築



SaaS関連のストック収益推移

(単位：百万円)



売上高：SaaS事業のMonthly Revenue (月次売上高)のブレイクダウン

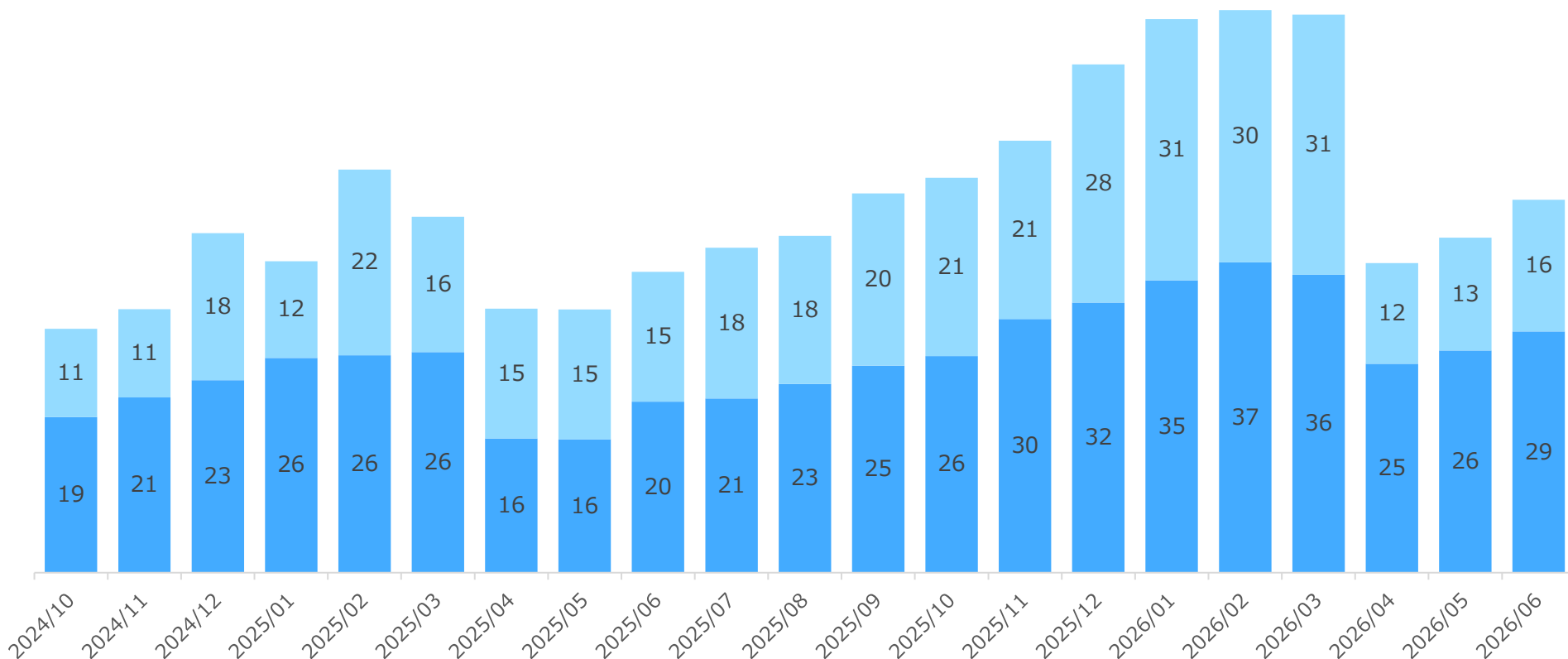
Fixstars Amplifyの季節変動要因やFixstars AIBoosterの大口案件終了によりMonthly Revenueは一時的に減少した。

一方、Fixstars Amplifyでは幅広い業界での導入拡大、Fixstars AIBoosterでは自動車業界向けのパーティカル事業および業界横断型のホリゾンタル事業の両領域での導入拡大を通じ、Monthly Revenueの再成長を図る。

■ Fixstars Amplify

■ Fixstars AIBooster/AIStation

(単位：百万円)



営業利益*

* 主要なセグメントのみを記載

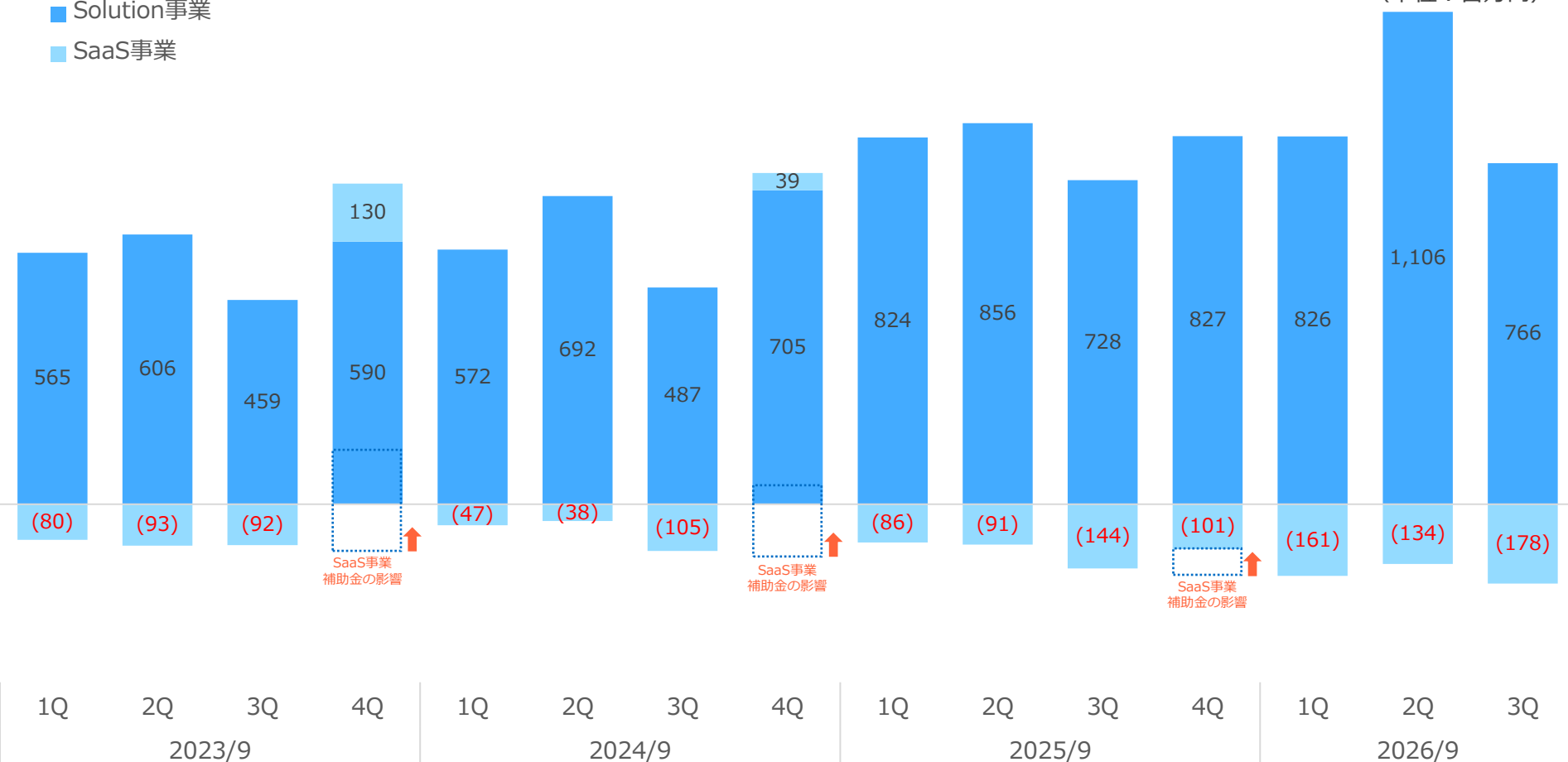
Solution事業において安定的に収益を獲得し、引き続きSaaS事業へ積極的な投資を実施。

SaaS事業への投下リソース増により、同事業の赤字水準は増加傾向。

■ Solution事業

■ SaaS事業

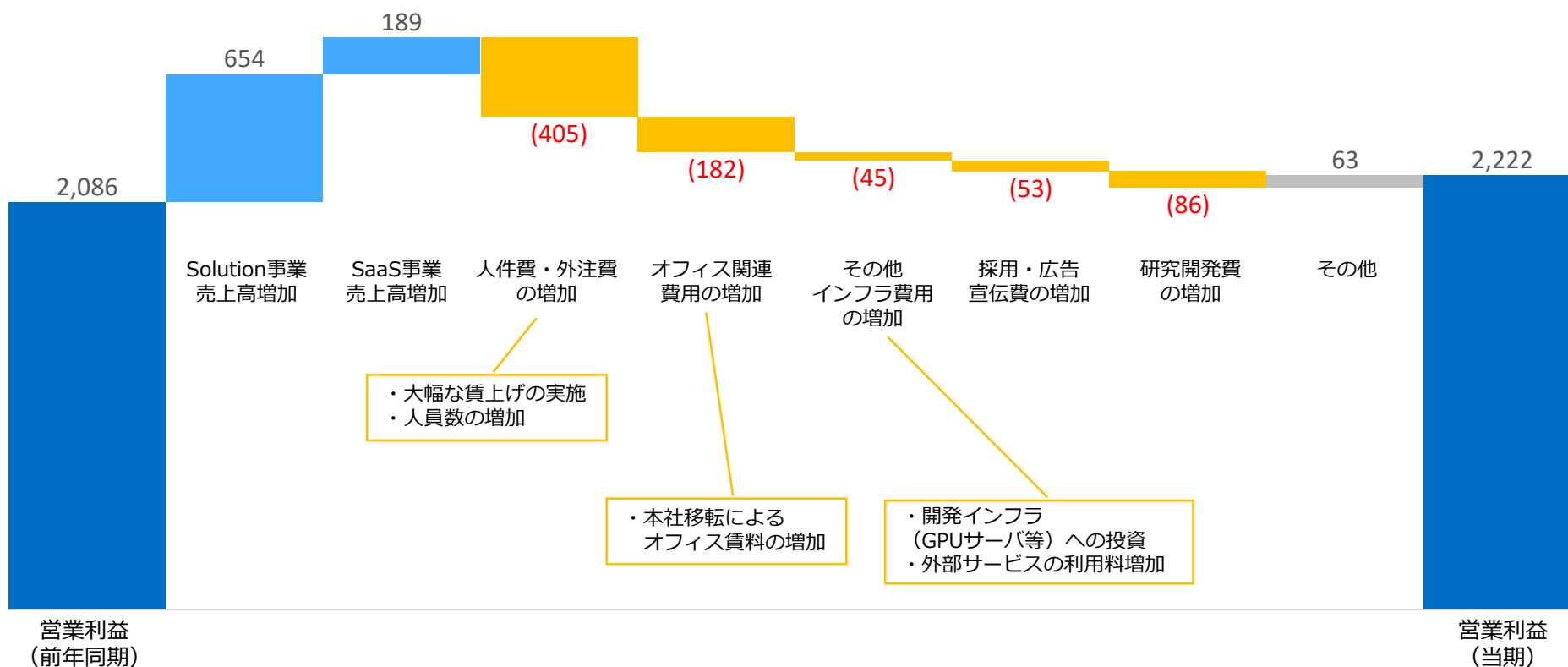
(単位：百万円)



営業利益の増減要因

当初見込んでいた賃上げや本社移転による費用増を大幅に上回る売上高の増加により、前年同期比で増益。

(単位：百万円)



売上高・営業利益進捗率*

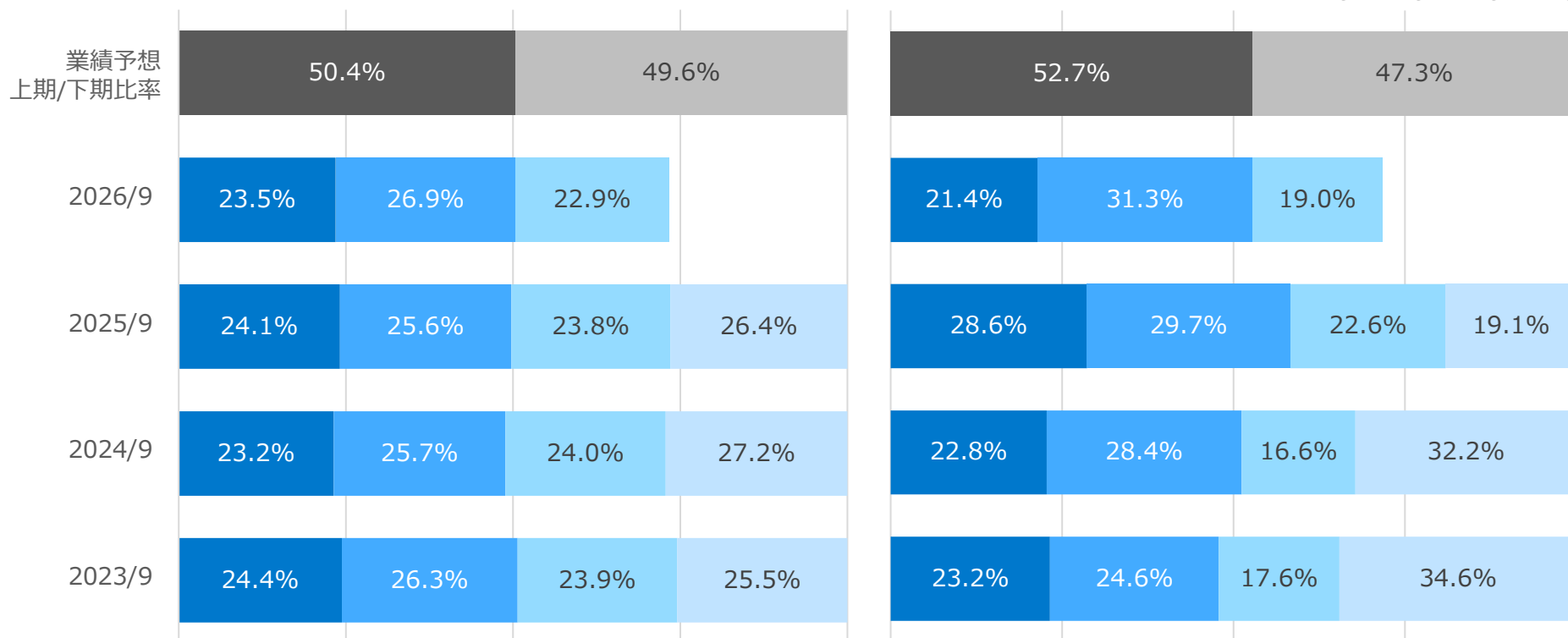
* 当期の進捗率：四半期実績値 / 通期業績予想値
 過年度の進捗率：四半期実績値 / 通期実績値
 (小数第二位四捨五入)

大口取引先の製品開発プロジェクト中止による一時的な影響はあったものの、他プロジェクトへの人員再配置により、売上高進捗率は概ね想定どおりに推移。
 3Qの営業利益減少に伴い営業利益進捗率は低下したものの、例年同様、補助金の確定額を研究開発費から控除する時期の影響等により営業利益は4Qに偏る傾向にあり、今期も4Qに営業利益進捗率が改善する見込み。

売上高進捗率

営業利益進捗率

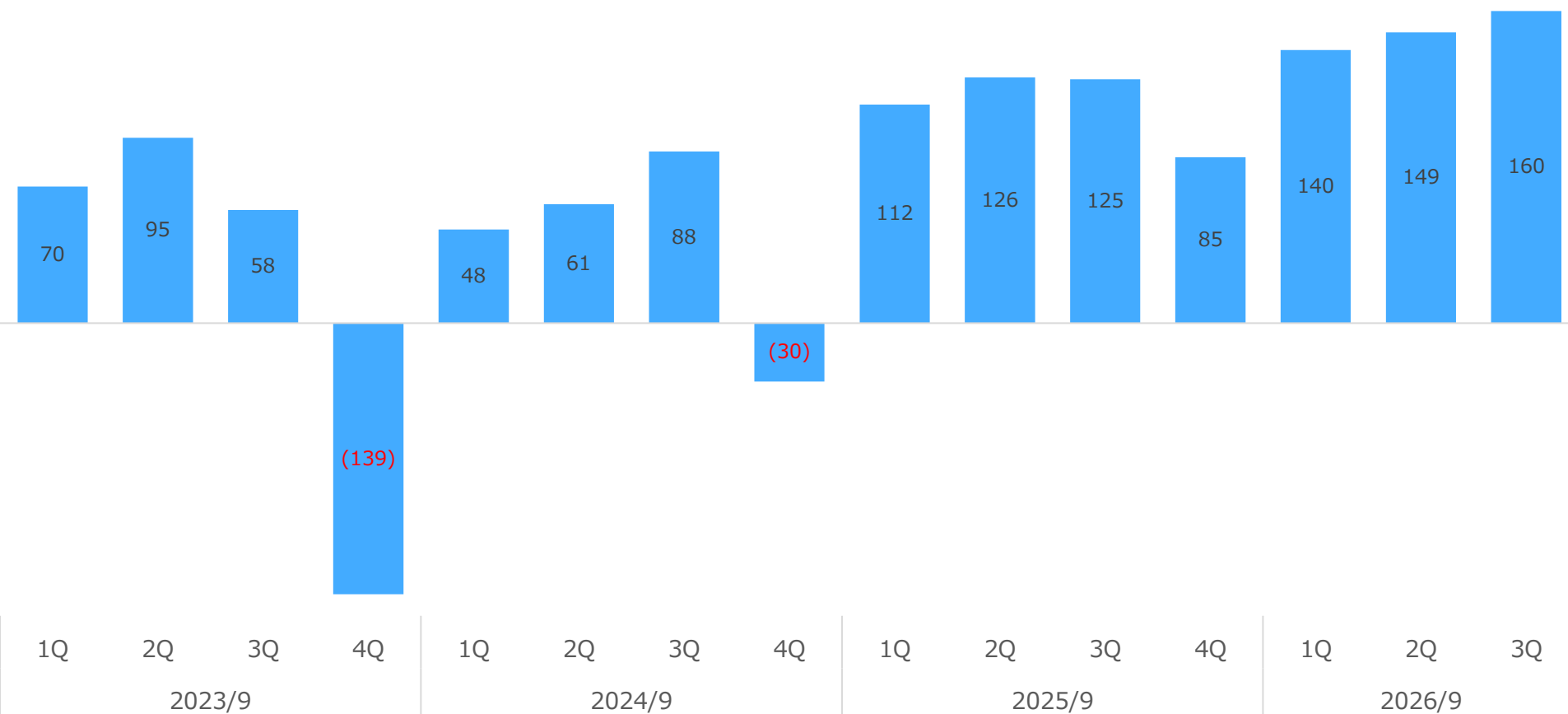
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



研究開発費

AI関連事業の研究開発を拡大。量子コンピューティング関連ではNEDO等からの補助金を活用し、費用負担の軽減を図る。
補助金は金額確定後に研究開発費から控除しており、確定した四半期（各期4Q）においては研究開発費の計上額が減少。

(単位：百万円)

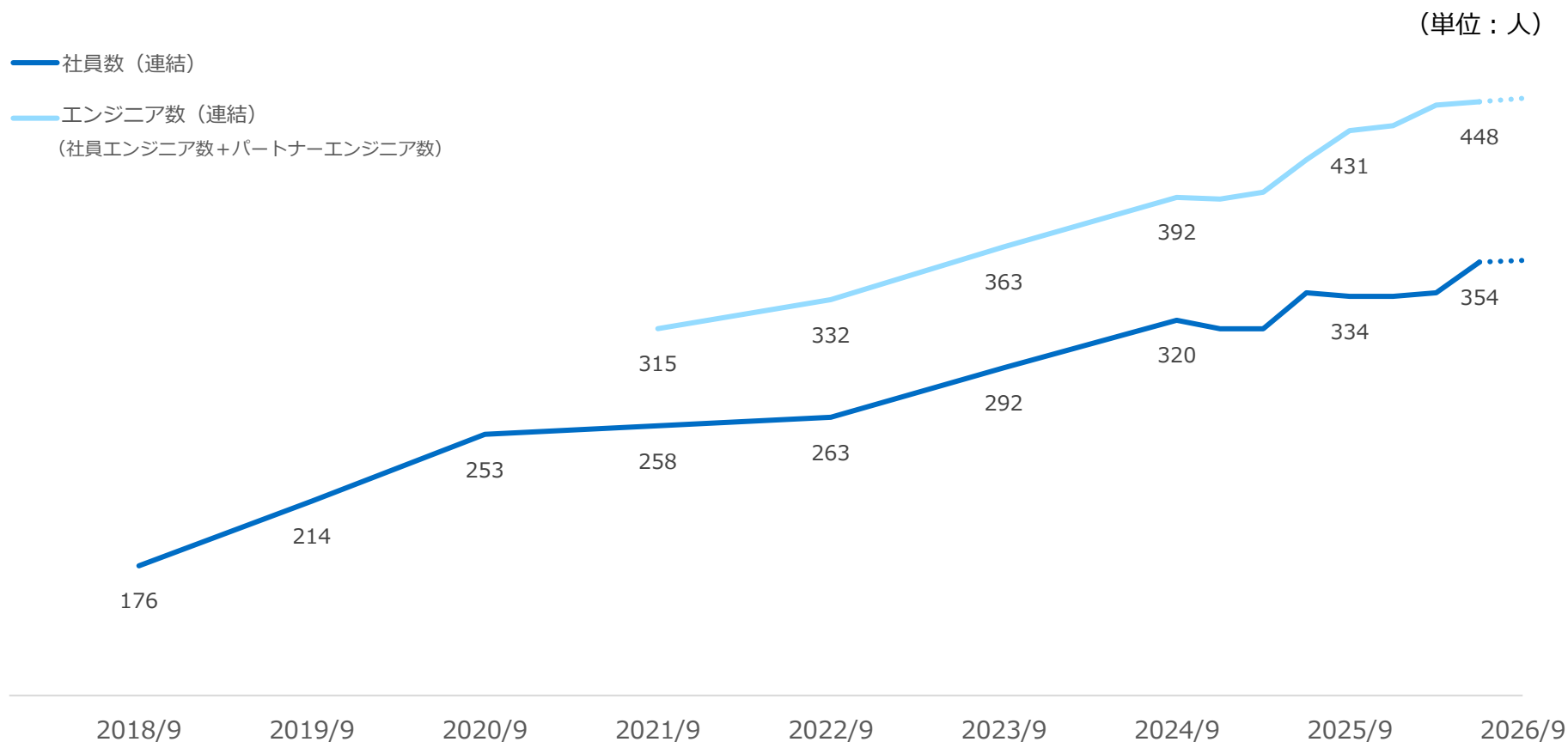


社員数・エンジニア数*推移

* エンジニア数の集計は2021年9月より
** 2024年9月期までは期末人数のみ集計

新卒採用を中心として、社員数は前四半期比で大幅に増加。

一方で、大口取引先の製品開発プロジェクト中止に伴い、パートナーエンジニアの体制を機動的に変更した影響で、エンジニア数は横ばい。



2

2026年9月期 通期業績予想

・ 売上、営業利益とも過去最高を見込む

- ・ 売上高 : 10,800百万円 (前期比 +12.3%)
- ・ 営業利益 : 3,100百万円 (前期比 +20.2%)
- ・ 2026年5月に業績予想を上方修正済
大口取引先の事業方針転換の影響を考慮し、下期予想は当初水準で据置

・ 中期経営ビジョンの実現に向けて

- ・ 高速化技術を核に、AIと量子コンピューティングによるIPドリブン成長へ
- ・ Solution事業とSaaS事業の連携を強化し、ストック型収益につながる受託開発への取り組みを加速することでストック型収益の拡大を図る
- ・ 「技術」と「経営」がわかる人材育成の継続

連結損益計算書・配当金

当期純利益は前期の特殊要因（子会社清算による税金負担減少）の反動や本社移転関連の特別損失計上により前期並みとなる見込み。

配当は連結配当性向30%およびDOE（純資産配当率）7%を目安に実施する方針とし、1円の増配を見込む。

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	
	実績	予想	前期比
売上高	9,617	10,800	+12.3%
営業利益	2,578	3,100	+20.2%
売上高営業利益率	26.8%	28.7%	+1.9pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,945	1,950	+0.2%
売上高当期純利益率	20.2%	18.1%	▲2.2pt
1株当たり当期純利益	60.34円	60.39円	+0.1%
1株当たり配当金	18円	19円	+1円

3

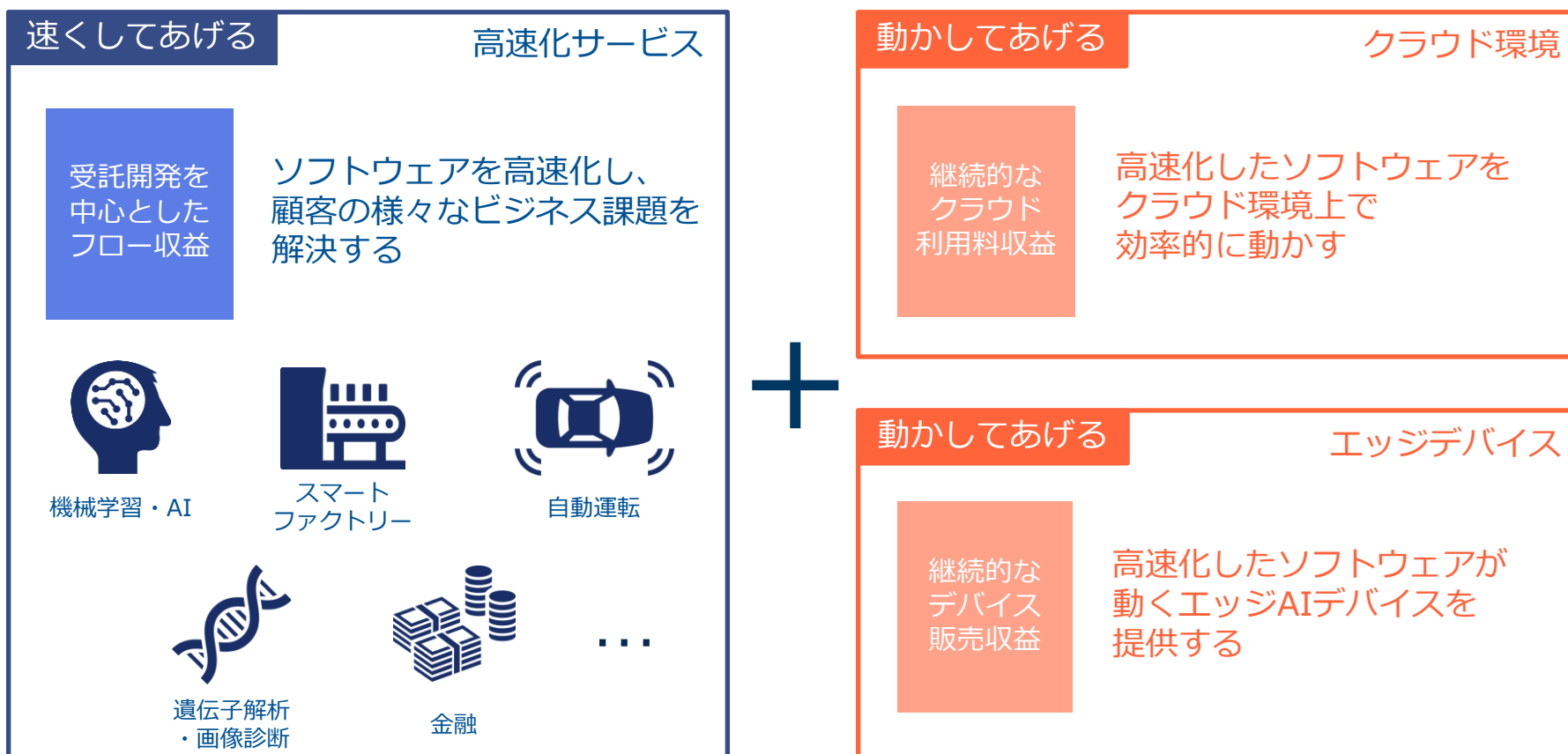
補足資料

3

補足資料① 個別事業の状況

「速くしてあげる」 + 「動かしてあげる」

主力である受託開発（速くしてあげる）を中心としたフロー収益だけでなく、その動作環境も提供する（動かしてあげる）ことでストック収益を拡大し、より強固なビジネスモデルを構築します。

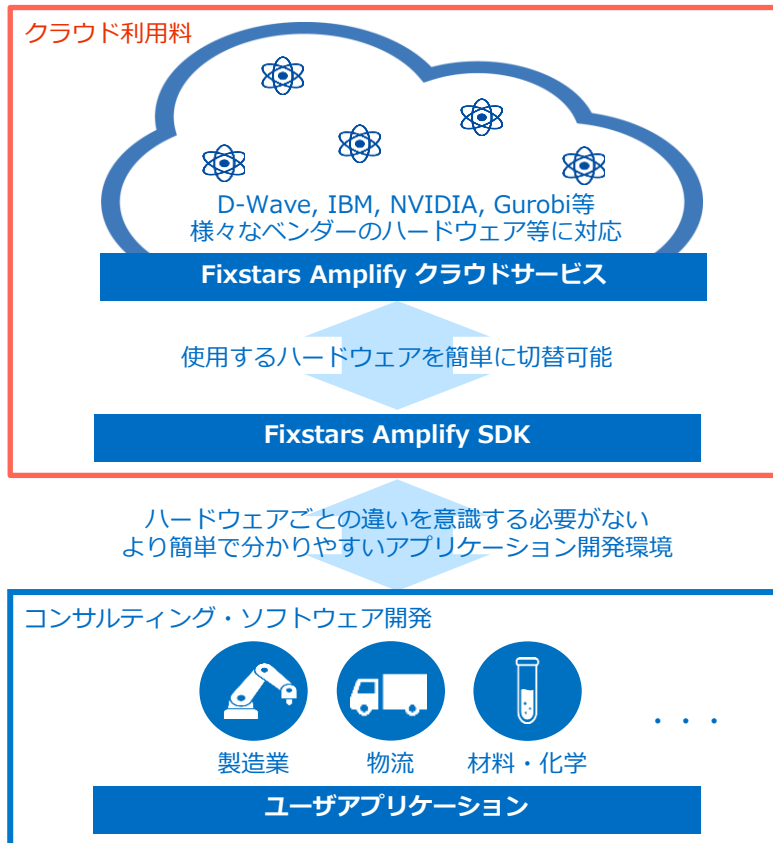


実用化が進む「量子インスパイアードコンピューティング」

量子コンピュータの実用化に先駆け、その計算手法を従来のコンピュータに適用した「量子インスパイアード技術」を活用して、複雑な組合せ最適化問題の解決に貢献。

問題解決のためのコンサルティング・ソフトウェア開発等（フロー収益）とクラウド利用料（ストック収益）の両面で事業を推進しています。

サービス概要



事業の状況

- ✓ 大規模な組合せ最適化問題において高速・高精度な求解性能を発揮する最新バージョン「Amplify AE v1.2」および「Amplify SDK v1.6.0」をリリース
- ✓ Amplifyのストック収益（クラウド利用料）は、季節変動要因により前四半期比では減少したものの、前年同期比150%超と大きく伸長
- ✓ 登録組織数は1,300を超え、累積実行回数は1.5億回（前年比170%）を達成

今後の施策

- ✓ Fixstars AIBoosterと連携し、Fixstars Amplifyを活用して大規模AIモデルの最適化を実現
- ✓ Amplifyクラウドサービスの拡張を続け、実社会問題への対応領域を広げるとともに、組合せ最適化問題解決のプラットフォームとしてデファクトスタンダードを目指す
- ✓ Fixstars Amplifyクラウドサービスの事業展開加速に向け、国内外の量子コンピュータベンダーとの業務提携を開始

コスト効率の高いAI開発・運用を実現する パフォーマンスエンジニアリングプラットフォーム

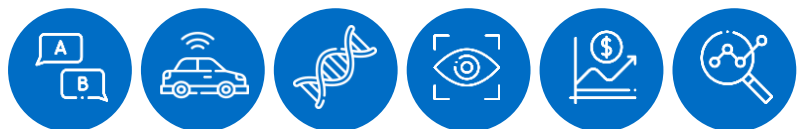
AI開発・運用の現場において不可欠となっているGPU。その高い計算能力を十分に活用できていないケースは少なくありません。

Fixstars AIBoosterによってGPUをより高効率に活用することで、開発期間の短縮、運用コストの低減を実現し、顧客の製品競争力の強化に貢献します。

またAI開発・運用のためにコスト最適化されたFixstars AIBoosterクラウドを提供することで顧客のクラウド利用コストを削減します。

サービス概要

GPUで膨大な計算を行うAIアプリケーション



LLM 自動運転 画像処理 医療 金融 データ解析

Fixstars AIBooster クラウド

Fixstars AIBooster

AIの
ボトルネックを
モニタリング

性能改善方法の
探索

当社の
エキスパート
による支援

高速化＝クラウド利用コスト削減



AIのための最適なクラウドインフラ
(CPU, GPU, AI アクセラレータなど)



事業の状況

- ☑ ハイパーパラメータ自動最適化機能を強化したことで、AI学習における探索時間を従来比1/16に短縮し、AI学習コストを大幅に削減
- ☑ AI高速化プラットフォームとして機能強化を続け、エッジAI推論向け自律最適化機能を追加
- ☑ Fixstars AIBoosterを基盤とした独自の性能最適化エージェントおよび組み込み開発向けセキュアAIアプライアンス「Fixstars Vega」を開発し、4Qより提供を開始

今後の施策

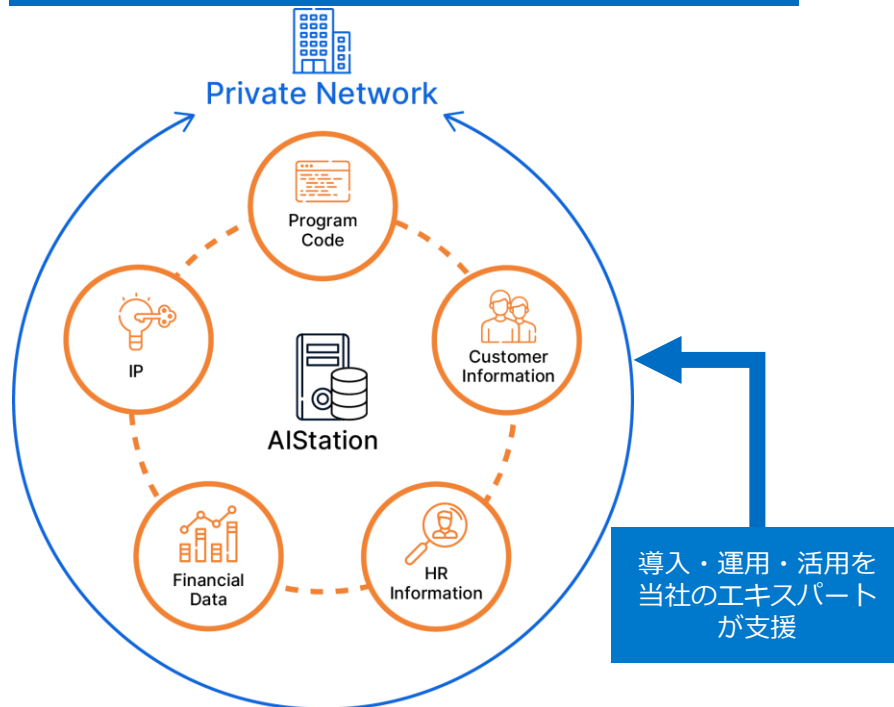
- ☑ 自動車業界を中心としたバーティカル戦略とLLM/AI基盤向けのホリゾンタル戦略を組み合わせた営業活動を推進
- ☑ パフォーマンス改善機能を中心とした製品の機能強化、活用事例の蓄積、知名度向上
- ☑ Fixstars AIBoosterの海外展開に向けた活動

届いてすぐにローカルLLMが使えるセキュアなAIオールインワン環境

Fixstars AIStationは、AI処理をすべてローカル環境で実行するため情報漏洩のリスクを減らしつつ最新のAIモデルを活用することができます。
また検証された最新のLLM/AIモデルとアプリケーションがセットアップ済みのため、届いてすぐにセキュアAIの利用ができます。

サービス概要

セットアップ済みの専用ワークステーションをレンタルで提供
(ソフトウェア利用料・サポート費用込み)



事業の状況

- ✓ 最新のLLM/AIモデルおよび高性能GPUを搭載した「Fixstars AIStation」のレンタル提供を開始
- ✓ 機密性の高い情報を扱うユーザをターゲットに、「Fixstars AIStation」の導入に向けた活動を展開中
- ✓ リスク管理クラウドサービスを提供しているGRCS社との提携においてもセキュアなAI環境である「Fixstars AIStation」を活用

今後の施策

- ✓ 最新の大規模オープンウェイトLLMに対応した次世代「Fixstars AIStation」の開発・リリース
- ✓ オンプレミス環境でセキュアに実行できる次世代AIエージェント（生成AI＋量子技術＋業務支援）の開発
- ✓ 検証済みAIモデルの拡充、製品の機能強化、活用事例の蓄積、知名度向上

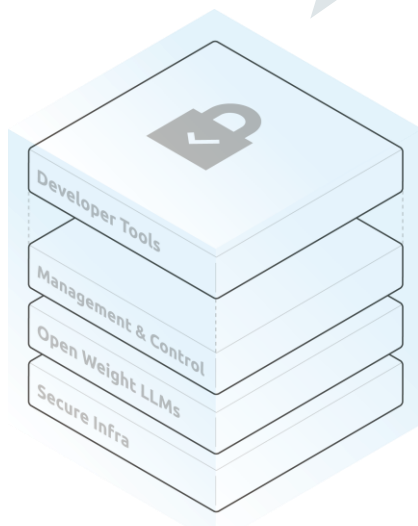
組み込みソフトウェア開発におけるAI活用を安全かつ効率的に実現

オンプレミス環境で機密情報を保護しながら生成AIを活用し、組み込みソフトウェア開発の生産性を向上。
セキュアなAI環境の構築からAI駆動開発の導入・定着まで、当社エンジニアが一貫して支援。

サービス概要 (Fixstars Vega とは)

組み込み開発チームが、**コードや設計情報を外部に出さずに** AIを活用できる「セキュアAIアプライアンス」

1つのアプライアンスとしてご提供



すべて社内ネットワークの中で完結
= 外部にデータが出ることは無い

セキュア

オンプレ環境でコードを外に出さずに
AIコーディングが可能に

最新のAIモデルが高速に

最新の高性能オープンウェイトLLMを
速く動くようにして提供

定額運用

定額だから、使うほど1回あたりの
コストが安くなる

組み込み開発に最適

当社の開発ノウハウと現場の知識を
活用し、使い込むほど賢く

事業の状況

- ✓ セキュアAIアプライアンス「Fixstars Vega」の提供を開始し、企業向け生成AIソリューションを展開
- ✓ 「AI駆動開発」をテーマとしたセミナーを開始し、AI活用ニーズの掘り起こしと市場開拓を推進
- ✓ ソリューション事業の既存顧客へのクロスセルを推進し、商談・案件化を拡大

今後の施策

- ✓ 「AI駆動開発」セミナーを定期開催し、新規リード獲得を強化
- ✓ 顧客の課題に合わせてプライベートセミナーを実施し、AI導入から組織への定着までを支援
- ✓ Fixstars Vegaの導入成果・活用事例を蓄積・公開し、受注拡大につなげる

乳がんAI画像診断支援事業

乳がんの超音波画像に対し、AIを用いて精密検査の要否を高速かつ高精度に判別し、医師の負担軽減を目指します。
乳がんの早期発見を支援し、がん発見後も総合的に患者さんをサポートするサービスを提供していきます。

サービス概要

複数の医療機関でサービス導入に向けた
テスト運用を実施中

医師 / 検査技師



クラウド等での
乳がんAI診断支援

将来的な
診断装置との連動

安心な環境の提供

患者さん



アプリ
による支援

アプリ
による情報提供

METIS Eye
(乳がん超音波画像診断支援)

ePRO¹ / PSP² による患者サポート



AI乳がん検診
Smaopi
スマオピ

(当社子会社)

事業の状況

- ☑ 「METIS Eye」がテレビニュースで取り上げられ、認知拡大に寄与
- ☑ 地方の医療機関含めて導入を開始
- ☑ Mayo Clinicの臨床データを活用し、生成AIを基盤とした乳腺AI診断支援技術を開発

今後の施策

- ☑ 自治体のデンスプレスト通知³開始に向けて認知拡大を図る
- ☑ 撮像補助機能のPMDA一部変更承認取得に向け準備を推進
- ☑ 企業・健保組合向けの営業強化
- ☑ 海外展開に向けた活動

Note: 1) e-Patient Reported Outcomes: ITを活用して、患者の症状や副作用の状況をモニターするシステム

2) Patient Support Program: 疾病やその治療に関する情報提供、多様な患者ニーズへのサポートなどを通じて、患者のQOL向上に寄与することを目的としたプログラム

3) 乳がん検診時に、乳房組織が高濃度（デンスプレスト）であることを受検者に通知する制度。デンスプレストの場合、マンモグラフィで精度は大幅に落ち、超音波検査のニーズが高まることが見込まれる。

4

補足資料② フィックスターズについて

高速化のエキスパート集団

フィックスターズは、“Speed up your AI”をコーポレートメッセージとして掲げるテクノロジーカンパニーです。

計算資源を最大限に活用するソフトウェア最適化技術を駆使し、AIモデルの推論処理と学習プロセスの両面で圧倒的な高速化を実現する、高速化のエキスパート集団です。

概要

会社名	株式会社フィックスターズ
本社所在地	東京都港区芝浦1-1-1 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S 31階
設立	2002年8月
上場区分	東証プライム（証券コード：3687）
代表取締役社長	三木 聡
資本金	5億5,446万円（2026年6月末現在）
社員数（連結）	354名（2026年6月末現在）
主なお客様	キオクシア株式会社 ソニー・ホンダモビリティ株式会社 株式会社ネクスティ エレクトロニクス みずほ証券株式会社

グループ体制

株式会社フィックスターズ

Fixstars Solutions, Inc.

100%子会社
米国での営業及び開発

株式会社Fixstars Autonomous Technologies

株式会社ネクスティ エレクトロニクスとのJV
自動運転向けソフトウェア開発に特化

株式会社Fixstars Amplify

100%子会社
量子コンピュータ関連のクラウド事業

株式会社Smart Opinion

連結子会社
乳がんAI画像診断支援事業

オスカーテクノロジー株式会社

連結子会社
ソフトウェア自動並列化サービス

株式会社Fixstars Investment

100%子会社
ベンチャー企業への投資及び育成を行う投資事業会社

コンピュータの進歩とともに

ハードウェア技術の進化にいち早く対応し、
その性能を最大限に引き出すソフトウェア開発・高速化サービスとともに成長してきました。

年月	出来事
2002年 8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立、その後株式会社に組織変更
2004年 7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2008年 12月	GPU高速化サービス開始
2009年 12月	「OpenCL入門ーマルチコアCPU/GPUのための並列プログラミング」を出版
2010年 11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入
2011年 10月	FPGA高速化サービス開始
2012年 1月	NANDフラッシュメモリ関連ソフトウェア開発サービス開始
2014年 4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2016年 11月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2017年 6月	量子コンピュータを手掛けるD-Wave社との協業を開始
2018年 2月	自動運転分野のさらなる拡大を目指し、ネクスティ エレクトロニクス社と合併会社Fixstars Autonomous Technologiesを設立
2021年 10月	量子コンピューティング領域のさらなるサービス事業拡大を目指し、株式会社Fixstars Amplifyを設立
2022年 4月	東京証券取引所の市場再編に伴い、東京証券取引所プライム市場に市場変更
2025年 3月	コーポレートスローガンを「Speed up your AI」に変更

コンピュータの恩恵を人々に

計算機器の性能を最大限に引き出すソフトウェア高速化技術とSDK開発技術を軸に、
コンピュータの活用がより一層進むこれからの世界を支えていきます。

フィックスターズの高効率なソフトウェアが、 クラウドとエッジの両サイドでコンピューティング基盤を支える世界の実現

ソフトウェアを効率的に動かすことで

- できなかった計算をできる計算にする
- コンピューティングに必要な消費電力を低減する

パー
パス

ソフトウェア高速化技術

SDK開発技術

ハードウェア・ソフトウェア両方に対する深い理解・知見

コア
バリュー

ソフトウェア高速化サービス

当社事業の根幹をなすソフトウェア高速化サービスにおいては、
ソフトウェアの最適化やアルゴリズム改良等によりコンピュータの性能を最大限に引き出すことで、大量データの高速処理を実現しています。



オリジナルソースコードのご提供

当社

高速化したソースコード

お客様



コンサルティング



高速化



サポート

● 性能評価

● ボトルネックの特定

● アルゴリズムの改良・開発

● ハードウェアへの最適化

● レポート作成

● レポートやコードへのQ&A

● 実製品への組み込み支援

高速化技術による環境負荷低減

当社は、多様な産業分野に対する高速化ソリューションにより電力消費を大幅に抑え、環境負荷低減に貢献しています。

多様な産業分野における高速化ソリューション

Semiconductor

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発
- ・ 次世代AIチップ向け開発環境基盤の開発

Mobility¹

- ・ 自動運転の高性能化、実用化
- ・ 次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

Life Science

- ・ ゲノム解析の高速化
- ・ 医用画像処理の高速化

Finance

- ・ デリバティブシステムの高速化
- ・ HFT(アルゴリズムトレード)の高速化

Industrial

- ・ Smart Factory化支援
- ・ マシンビジョンシステムの高速化

数倍～数百倍の高速化による
電力消費時間の短縮

電力消費量の
大幅な削減

環境負荷低減

Note: 1) 一例として、自動運転向け画像認識処理の高速化（1車種）のみでも、2020年に約14,000トンのCO2削減が見込まれる（当社推計）

高速化に限らない様々な社会貢献

高速化ソリューションによる消費電力削減に加え、自動運転や医療等の様々な分野への支援により、環境や社会の課題解決に貢献しています。

当社事業領域

社会的価値



自動運転の高性能化、実用化
次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

交通事故の根絶
交通弱者へのサポート



AIによる画像診断支援

より気軽により質の高い
診断・治療へのアクセス



量子コンピューティングによる生産性の向上、労働の効率化

カーボンニュートラルへの貢献

